

豊かな自然、歴史、文化に触れ遊ぶ

観光・レクリエーションの振興

観光客数は、東日本大震災等の影響による落ち込みから、緩やかに回復の兆しが見られつつあり、海外からの観光客についても以前は韓国人観光客が中心でしたが、近年は台湾の観光客が増加し、秋田内陸線などへの関心が高まっています。

森吉エリアの観光振興を図るため、秋田県との協働による「まるごと森吉山観光振興プロジェクト」を進め、観光基盤の拡充を行ったほか、世界文化遺産登録された伊勢堂岱遺跡等の歴史や文化を活用し、全市的な観光振興に力を入れています。

今後は最重要課題である観光エリアや施設への導線整備に向け、関係機関等との協議や要望活動等に取り組むほか、米代川や阿仁川等の水質資源の活用による観光産業振興への波及を促すため、関係機関等との連携を図っていきます。

主な取り組み

- ◆ 森吉山を中心とした滞留型観光の推進
- ◆ 歴史文化を活用した観光の推進
- ◆ 老朽化した観光施設の改修及び整備
- ◆ 関係機関との連携強化
- ◆ 観光イベントの見直し



国指定重要文化財
「阿仁異人館」

明治15年ドイツ人技師、アドルフ・メツケルらの官舎として建築された洋館で、かつての鉱山で繁栄した「阿仁」の歴史を後世に伝えています。



浜辺の歌音楽館

「浜辺の歌」「かなりや」などを作曲した成田為三を記念して建てられた博物館。自筆楽譜など為三の資料も多数展示しています。



県指定文化財
「旧長岐家住宅」

代々肝煎を務めた七日市の宗家。建物は文政13年頃の建築とされ、江戸の面影を残す建築様式や意匠はたいへん貴重とされています。

